

北見工業大学学報

第 233 号 (2009 年 5 月号)

目 次

入 学 式	平成 21 年度入学式举行……………	2
告 辞	入学式告辞……………	3
入 試	平成 22 年度編入学学生募集要項の公表……………	6
	平成 22 年度大学院工学研究科博士課程学生募集要項の公表……………	7
研 究 助 成	平成 21 年度科学研究費補助金交付内定……………	9
	平成 21 年度科学研究費補助金申請件数一覧(学科等別)……………	12
	平成 21 年度(財)高橋産業経済研究財団研究助成金の課題採択決定……………	13
	平成 21 年度(財)河川環境管理財団研究財団研究助成金の課題採択決定……………	13
	平成 21 年度共同研究の受入状況……………	14
	平成 21 年度受託研究の受入状況……………	15
	平成 21 年度奨学寄附金受入状況……………	15
諸 報	平成 20 年度国立大学法人北見工業大学 永年勤務者表彰式(退職時表彰)を举行……………	16
	名誉教授称号授与……………	17
	平成 21 年度構内美化作業の開始……………	18
	安全衛生講習会を開催……………	19
	北見工業大学「技術士養成支援講座」の開講……………	20
日 誌	4月・5月……………	21

= 入学式 =

平成 21 年度入学式挙行

(総務課)

平成21年度入学式が、4月6日(月)午前10時から北見市民会館大ホールで行われました。

学長から、学部 473 人、学部編入学3人、大学院博士前期課程 113 人及び大学院博士後

期課程3人の入学が許可された後、学長告辞、大学後援会「KIT げんき会」会長、学生後援会会長からのご祝辞、入学生代表宣誓及び役職員紹介が行われ、式は無事終了しました。

なお、入学者数は次のとおりです。

学部

系名	入学者数(人)
機械・社会環境系	186
情報電気エレクトロニクス系	147
バイオ環境・マテリアル系	140
合計	473

学部編入学

学科名	入学者数(人)
機械システム工学科	1
電気電子工学科	1
情報システム工学科	1
合計	3

大学院博士前期課程

学科名	入学者数(人)
機械システム工学専攻	31
電気電子工学専攻	19
情報システム工学専攻	11
化学システム工学専攻	16
機能材料工学専攻	19
土木開発工学専攻	17
合計	113

大学院博士後期課程

学科名	入学者数(人)
システム工学専攻	2
物質工学専攻	1
合計	3



入学生代表宣誓



本学同窓会の歓迎を受ける新入生

= 告辞 =

入学式 告辞

学長 鮎田 耕一

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

北見工業大学の教職員、学生を代表致しまして、私たちの大学の一員となった皆さんの入学を心から歓迎します。

また、これまで皆さんを育て、温かく見守って来られたご両親をはじめご家族の皆様にもお祝いを申しあげます。

本日はご多用にもかかわらず、ご臨席を賜りました大学後援会会長の永田様、学生後援会会長の田中様、並びに多くの父母の方にご出席いただき、オホーツクブルーの青空の下で入学式を挙行できますことをうれしく思います。

北見工業大学は、来年平成 22 年に創立 50 周年を迎えます。

卒業生も 12,000 人を超える規模になりました。

日本の最も北にある国立大学でありながら、今日入学された皆さんもそうでありますように、過半数の学生は本州の出身で、卒業生も全国

に展開し幅広い分野で活躍し、高い評価を得ています。

皆さんが住まわれることになったこの北見市は、平成 18 年の春に隣りあう3つの町と合併し、人口 13 万人の新しい北見市としてスタート致しました。

面積は北海道で最も広く、全国でも4番目です。

北見市の周辺には4つの国立公園があります。西に「大雪山国立公園」、南に「阿寒国立公園」と「釧路湿原国立公園」、東に世界自然遺産に登録され有名になった「知床国立公園」です。

皆さんはこのような豊かな自然環境のなかで、これから希望にあふれた大学生生活を送ることになります。

さて、今日は二つのことを皆さんに話したいと思います。

一つは、入学した皆さんに対する北見工業大学のサポート体制についてです。



もう一つは、大学で学ぶ意欲についてです。

まずサポート体制についてですが、大学に入学して初めて家族から離れて一人で生活を始める皆さんのなかには北見での生活に不安を感じている人も少なくないと思います。何か不安なこと、わからないことがあったら皆さんの先輩たちが「ピア・サポーター」として相談に乗ってくれます。

先生や職員で構成されています「学生よろず相談室」もあります。相談員がいる時間や場所が決まっていますので、そこで相談してください。

「クラス担任や個別担任」の先生にも遠慮なく尋ねてください。先生方が部屋にいる時間帯をオフィスアワーと呼んで掲示してあります。

これらの方々に相談することによって、安心して大学生生活を送れるでしょう。

そしてこのようなサポート体制に加えて、友達同士の率直な会話の中で様々な悩みの解決の糸口が見つかることもあるでしょう。ぜひ信頼の置ける友人を作ってください。

生活のこと、勉強のこと、人間関係のこと、何であれ一人で悩まないで誰かに相談をすることが大事です。

本日は大学院へ進学する皆さんの入学式でもあります。

大学院生の皆さんのほとんどは本学からの進学ですので、もう北見での生活にはすっかり慣れていることでしょう。

博士前期課程に入学した皆さんは、急速に進歩発展している科学技術の世界で、学士課程で培った基礎学力を基に応用的な専門の勉強をし、専門技術者を目指してください。

博士後期課程に入学した方は、指導を受ける先生の下でその分野で優れた研究業績をあげ、高度専門技術者あるいは研究者として巣立つことを期待しています。

また、今年も中国、韓国、マレーシア、ベトナム、

ナイジェリアなどの各国から23人の留学生が学部や大学院に入学しています。お国を離れて異国での生活は、ことば、習慣などさまざまなことで戸惑うことがあると思います。本学の「国際交流センター」では、そのような皆さんのために親身になって世話をしてくれる教職員がいます。加えて世界十数ヶ国から80人もの先輩留学生が在籍しています。悩み事は遠慮せずに相談して、一日も早く日本、そして本学での生活に慣れることを祈っています。

このように本学では皆さんが安心して勉学や課外活動に集中できるように様々なサポート体制を整えていますので、今日午後からのガイダンスでその内容について詳しい説明を受けてください。

さて、もう一つの話は学ぶ意欲についてです。

皆さん、入学してきた大学というものにどのようなイメージを持っていますか？

アメリカの大統領だったジョン F ケネディは、ある大学の式典の祝辞で、「イギリスの詩人がかつて『地球上で最も美しいのは大学です』と言ったのは、今でも真実です。しかし、詩人が美しいと言ったのは、大学の建物やキャンパスのことではありません。大学が無知を恥じる人々が知ろうと努力をし、真理を知る人が他の人の目を開かせようと努力するところだからです」と述べています。

耳で聞いただけでは少し分かりづらいでしょうから、私なりに解説しますと、大学の最も大きな使命は、教育と研究です。大学では、知り得たことを学生に教えるために教育をする先生、未知のことを解明しようと研究をしている人々、そしてそれらを支えている方々で構成されています。ケネディのことばで重要なことは、教育と研究に努力をしているところが大学であり、それだからこそ美しいと言っているのです。ここでのキーワードは「努力」です。

最近「16歳の教科書—なぜ学び、何を学ぶのか」という本が大人が読んでもおもしろいと話題になっています。この本の冒頭にこんな文章があります。

「16歳のきみに聞きたいことがある。きつきみはいま、自分も高三になったら受験勉強をして、どこかの大学に行くんだろうと思っている。それではきみは、なぜ大学に行くのだろう？」ここでは高校1年生を対象に、大学で学ぶ意味を尋ねています。大学1年生になった皆さんはどうでしょうか？最近、学ぶと言うことに意欲を持たない、努力をしない学生が少なくないと言われています。私も40年間教壇に立ってきた経験からそう感じるときもあります。

皆さんは北見工業大学に入学しました。

北見工業大学の大学生になりました。

北見工業大学は技術系の大学です。

その教育目標は明快です。

北見工業大学では、皆さんが将来技術者として自立できるよう基礎的な教育をしっかりとやって社会に送りだします。

加えて大学院生には、北見工業大学ならではの特色ある研究を指導します。

皆さんもそれに応えるよう意欲を持って勉学に励んでください。

昨年秋のアメリカの大手証券会社の経営破綻に端を発した世界的な同時不況は日本の社会にも影響を及ぼし、入学料を用意できないなどの経済的事情で大学進学を断念する生徒が目立っていると報じられるなか、皆さんは幸いにも大学に入学しました。この幸運をしっかりと受け止め、学ぶという意欲を持って努力をしてもらいたいと思います。

北見工業大学にも講演に来ていただいたことのあるノーベル物理学賞を受賞した小柴昌俊先生が「自分のこれからの一生の間に、これをやりたい、やり遂げたい、あるいは理解したい、なんかそういう目標になるタマゴを3つ4つ、いつも大事に持っていなさい」と若者にアドバイスしています。これこそが学ぶという意欲の源でしょう。ぜひ皆さんも、「心に夢のタマゴ」を持ってください。

最後に大学生生活は、おそらく

人生のなかで最も自由な時間がとれる、

人生のなかで最も教養を高められる、

人生のなかで最も信頼の置ける友人に巡り会える、

そんな環境にあります。この恵まれた環境が将来社会人として羽ばたく上での大きな糧となります。

皆さんが北見工業大学の一員として心身ともに健やかな学生生活を過ごされることを心から祈って歓迎の挨拶と致します。

改めて入学おめでとうございます。



= 入試 =

平成 22 年度編入学学生募集要項の公表

(入 試 課)

平成 22 年度編入学学生募集要項が公表されました。概要は以下のとおりです。

選 抜 の 種 類	推薦による選抜・学力試験による選抜・社会人特別選抜
学 科 及 び 募 集 人 員	工学部全学科 推薦による選抜 10 人 学力試験による選抜及び社会人特別選抜 若干人
出 願 資 格	推薦による選抜 高等専門学校・理工系の短期大学を平成 22 年 3 月卒業見込みの者 学力試験による選抜 (1)大学を卒業した者又は平成 22 年3月卒業見込みの者 (2)高等専門学校・短期大学を卒業した者又は平成 22 年度 3 月卒業見込みの者 (3)修業年限4年以上の他の大学に2年以上在学している者又は在学した者 ただし、一つの大学に2年以上(休学期間を除く。)在学し、62 単位以上修得した者又は平成 22 年3月までに修得見込みの者(平成 22 年3月までに2年間以上在学となる者を含む。)等 社会人特別選抜 入学時において企業等に正規の職員として2年以上在職中で、在職のまま入学することができ、所属長からの推薦がある者で、次のいずれかに該当するもの (1)理工系の高等専門学校を卒業した者 (2)理工系の短期大学を卒業した者 (3)大学・学部の理工系学科を卒業した者又は大学・学部の理工系学科に2年以上在学し、62 単位以上を修得し退学した者
出 願 期 間	推薦による選抜・社会人特別選抜 5 月 29 日(金)～6 月 3 日(水) 学力試験による選抜 6 月 18 日(木)～6 月 22 日(月)
試 験 日	推薦による選抜・社会人特別選抜 6 月 10 日(水)(面接) 学力試験による選抜 7 月 1 日(水)
合 格 発 表	推薦による選抜・社会人特別選抜 6 月 17 日(水) 学力試験による選抜 7 月 8 日(水)

平成 22 年度大学院工学研究科博士課程学生募集要項の公表

(入 試 課)

平成 22 年度大学院工学研究科博士課程学生募集要項が公表されました。概要は以下のとおりです。また、平成 21 年度大学院秋季入学の学生募集要項も同時に公表され、平成 22 年度入試の第一次募集と同一日程で実施されます。

なお、博士後期課程においては平成 22 年度に改組を予定しており、平成 21 年度大学院秋季入学のみの公表となっております。

※ 平成 22 年度大学院博士後期課程学生募集要項は、後日改めて公表予定です。

平成 22 年度大学院工学研究科博士課程

	博士前期課程		博士後期課程														
専 攻	機械システム工学専攻 電気電子工学専攻 情報システム工学専攻 化学システム工学専攻 機能材料工学専攻 土木開発工学専攻		未定														
選 抜 の 種 類	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜 学部3年次学生を対象とする選抜		未定														
募集人員	<ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜 機械システム工学専攻 電気電子工学専攻 情報システム工学専攻 化学システム工学専攻 機能材料工学専攻 土木開発工学専攻 ・社会人特別選抜 各専攻とも若干人 ・外国人留学生特別選抜 各専攻とも若干人 ・学部3年次学生を対象とする選抜 各専攻とも若干人 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>第1次</th> <th>第2次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16人</td> <td rowspan="6">各専攻とも 若干人</td> </tr> <tr> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table>	第1次	第2次	16人	各専攻とも 若干人	16人	16人	14人	10人	20人	専攻名 未定	<table border="1"> <thead> <tr> <th>第1次</th> <th>第2次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施せず</td> <td>未定</td> </tr> </tbody> </table>	第1次	第2次	実施せず	未定
第1次	第2次																
16人	各専攻とも 若干人																
16人																	
16人																	
14人																	
10人																	
20人																	
第1次	第2次																
実施せず	未定																
			※ 改組のため、第一次募集は実施せず。 第二次募集の詳細は後日発表。														
出願資格	大学を卒業した者又は平成 22 年 3 月までに卒業見込みの者 等		未定														
出願期間	第1次募集 平成 21 年 7 月 9 日(木)～7 月 15 日(水) (出願資格の事前審査受付 平成 21 年 6 月 1 日(月)～平成 21 年 6 月 5 日(金)) 第2次募集 平成 22 年 1 月 18 日(月)～1 月 22 日(金) (出願資格の事前審査受付 平成 21 年 12 月 1 日(火)～平成 21 年 12 月 4 日(金))																
試 験 日	第1次募集 学力試験 平成 21 年 8 月 24 日(月) 面接試験 平成 21 年 8 月 25 日(火) 第2次募集 学力試験 平成 22 年 2 月 8 日(月) 面接試験 平成 22 年 2 月 9 日(火)		第2次募集 面接試験 平成 22 年 2 月 8 日(月)														
合格発表	第1次募集 平成 21 年 9 月 9 日(水) 第2次募集 平成 22 年 2 月 17 日(水)																

平成 21 年度大学院工学研究科博士課程(秋季入学)

	博士前期課程(秋季入学)	博士後期課程(秋季入学)								
専攻	機械システム工学専攻 電気電子工学専攻 情報システム工学専攻 化学システム工学専攻 機能材料工学専攻 土木開発工学専攻	システム工学専攻 物質工学専攻								
選抜の種類	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜 学部3年次学生を対象とする選抜	一般選抜 社会人選抜 外国人留学生選抜								
募集人員	<table border="1"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜 機械システム工学専攻 電気電子工学専攻 情報システム工学専攻 化学システム工学専攻 機能材料工学専攻 土木開発工学専攻 ・社会人特別選抜 各専攻とも若干人 ・外国人留学生特別選抜 各専攻とも若干人 ・学部3年次学生を対象とする選抜 各専攻とも若干人 </td> <td> <table border="1"> <tr> <td>募集人員</td> </tr> <tr> <td>各専攻とも若干人</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜 機械システム工学専攻 電気電子工学専攻 情報システム工学専攻 化学システム工学専攻 機能材料工学専攻 土木開発工学専攻 ・社会人特別選抜 各専攻とも若干人 ・外国人留学生特別選抜 各専攻とも若干人 ・学部3年次学生を対象とする選抜 各専攻とも若干人 	<table border="1"> <tr> <td>募集人員</td> </tr> <tr> <td>各専攻とも若干人</td> </tr> </table>	募集人員	各専攻とも若干人	<table border="1"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> システム工学専攻 物質工学専攻 </td> <td> <table border="1"> <tr> <td>募集人員</td> </tr> <tr> <td>各専攻とも若干人</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> システム工学専攻 物質工学専攻 	<table border="1"> <tr> <td>募集人員</td> </tr> <tr> <td>各専攻とも若干人</td> </tr> </table>	募集人員	各専攻とも若干人
<ul style="list-style-type: none"> ・一般選抜 機械システム工学専攻 電気電子工学専攻 情報システム工学専攻 化学システム工学専攻 機能材料工学専攻 土木開発工学専攻 ・社会人特別選抜 各専攻とも若干人 ・外国人留学生特別選抜 各専攻とも若干人 ・学部3年次学生を対象とする選抜 各専攻とも若干人 	<table border="1"> <tr> <td>募集人員</td> </tr> <tr> <td>各専攻とも若干人</td> </tr> </table>	募集人員	各専攻とも若干人							
募集人員										
各専攻とも若干人										
<ul style="list-style-type: none"> システム工学専攻 物質工学専攻 	<table border="1"> <tr> <td>募集人員</td> </tr> <tr> <td>各専攻とも若干人</td> </tr> </table>	募集人員	各専攻とも若干人							
募集人員										
各専攻とも若干人										
出願資格	大学を卒業した者又は平成 21 年 9 月までに卒業見込みの者 等	修士の学位を有する者又は平成 21 年 9 月までに取得見込みの者 等								
出願期間	平成 21 年 7 月 9 日(木)～7 月 15 日(水) (出願資格の事前審査受付 平成 21 年 6 月 1 日(月)～平成 21 年 6 月 5 日(金))									
試験日	学力試験 平成 21 年 8 月 24 日(月) 面接試験 平成 21 年 8 月 25 日(火)	面接試験 平成 21 年 8 月 26 日(水)								
合格発表	平成 21 年 9 月 9 日(水)									

= 研究助成 =

平成21年度 科学研究費補助金交付内定

(研究協力課)

○特定領域研究(公募研究)

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
マテリアル工学科	准教授	村田 美樹	ケイ素-水素結合活性化に基づく触媒的炭素-ケイ素結合形成反応	1,600		○

○基盤研究(A)一般

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
未利用エネルギー 研究センター	教授	庄子 仁	水底表層ガスハイドレートの物性とその再生可能性の解明	5,000		○
社会環境工学科	教授	高橋 修平	「知床」の雪氷環境・防災に関する研究	6,300		○

※別途、間接経費3,390千円配分

○基盤研究(A)海外

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
マテリアル工学科	教授	高橋 信夫	バイカル湖表層メタンハイドレートの多層形成環境の解明	14,400	○	

※別途、間接経費4,320千円配分

○基盤研究(B)一般

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
情報システム工学科	教授	三浦 則明	太陽multi-conjugate補償光学系の開発と効果の検証	4,000		○
社会環境工学科	教授	川村 彰	ヒューマン・インターフェースを用いた性能照査型路面評価システムの開発	1,900		○
社会環境工学科	教授	渡邊 康玄	洪水時における中規模河床波の変形に着目した流路形成機構に関する研究	3,500	○	
社会環境工学科	教授	山下 聡	表層型ガスハイドレート地盤の安定性評価と地球環境変動	5300	○	
バイオ環境化学科	教授	鈴木 勉	鉄触媒炭化二段法によるウッドリファイナリーの構築とナノ炭素からの高機能材料の開発	8000	○	

※別途、間接経費6,090千円配分

○基盤研究(C)一般

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
バイオ環境化学科	教 授	福 井 洋 之	相対論的効果を考慮した核磁気共鳴スペクトルパラメーターの理論計算	500		○
情報システム工学科	准 教 授	渡 辺 文 彦	超幾何積分の新しい一般化の研究、モジュラー性の観点から	800		○
電気電子工学科	教 授	野 矢 厚	極微細銅配線のための新しい化合物バリア材料の検討	900		○
社会環境工学科	教 授	中 山 恵 介	斜面に連続的に作用する内部ケルビン波により誘起される水平循環メカニズムの解明	1,100		○
バイオ環境化学科	准 教 授	佐 藤 利 次	逆遺伝的手法による食用担子菌の子実体関連遺伝子の解析	1,100	○	
電気電子工学科	教 授	小 原 伸 哉	植物のシュート形態を模擬した多方位ソーラー発電システムのコンパクト化に関する研究	1,300	○	
電気電子工学科	教 授	田 村 淳 二	スタンドアロン形ウインドファームによる高効率水素製造システム的设计	1,100	○	
電気電子工学科	准 教 授	辻 寧 英	完全フォトニックバンドギャップ磁性フォトニック結晶に基づく新機能光デバイスの提案	500	○	
電気電子工学科	教 授	柏 達 也	自動車衝突防止を目的とした新周波数帯電波利用に関する研究	900	○	
バイオ環境化学科	教 授	堀 内 淳 一	エネルギー代謝変化による中枢代謝活性化に基づくキシリトール発酵の効率化	700	○	
バイオ環境化学科	助 教	多 田 清 志	亜臨界水処理による農産廃棄物系バイオマスのカスケード利用プロセスの開発	500	○	
機 械 工 学 科	准 教 授	鈴木 聡一郎	高齢者の健康寿命延伸のための身体能力向上効果に着目したマウスガードの試作研究	1,400	○	
電気電子工学科	准 教 授	川 村 武	RF-IDシステムによる暴風雪悪視界下の車両ナビゲーションシステム	1,500	○	
社会環境工学科	准 教 授	亀 田 貴 雄	南極氷床の表面氷質収支と海水準への影響の解明	1,500	○	
バイオ環境化学科	助 教	服 部 和 幸	開環重合を利用した主鎖が二単位ずつ伸長する多糖の合成法	1,500	○	
バイオ環境化学科	教 授	吉 田 孝	インフルエンザウイルス吸着機能を持つ硫酸化多糖ナノ繊維の開発	2,000	○	
社会環境工学科	准 教 授	堀 彰	X線回折逆格子マップ測定によるドームふじ氷床コアの氷結晶の組織と構造の研究	2,400	○	
情報システム工学科	助 教	曾 根 宏 靖	超高効率スーパーコンティニウム光のリアルタイム光波制御システムの構築	1,700	○	
機 械 工 学 科	教 授	柴 野 純 一	材料深部き裂の検出とき裂近傍ひずみマッピングを可能とする白色X線システムの開発	1,200	○	
電気電子工学科	准 教 授	武 山 眞 弓	広範な抵抗率可変機能を持つ新しい薄膜ナノ材料の開発と最先端集積回路への応用	1,900	○	
電気電子工学科	教 授	谷 藤 忠 敏	近赤外分光を用いたヒト脳診断理論の構築	900	○	
機 械 工 学 科	教 授	羽 二 生 博 之	GPS起動誘導農地赤外線自動航空撮影システムの開発と農地の土壌および作柄改善	1,600	○	

※別途、間接経費7,950千円配分

○挑戦的萌芽研究

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
共 通 講 座	准 教 授	水 本 正 晴	実験哲学の立場からの知識概念の発達の研究	1,000		○
情報システム工学科	教 授	榮 坂 俊 雄	モーションメディアを活用したコンピュータ支援学習システム	700		○
社会環境工学科	教 授	高 橋 修 平	車載型路面凍結検知システムの試作開発	1,900	○	
機 械 工 学 科	准 教 授	松 村 昌 典	弱風地帯でも実用可能な集風塔型風車の開発研究	1,600	○	

○若手研究(A)

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
マテリアル工学科	准 教 授	石 川 和 宏	非Pd系水素透過合金の強加工による組織の異方化と高性能化	3,200		○

※別途、間接経費960千円配分

○若手研究(B)

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
情報システム工学科	准 教 授	原 田 建 治	コロナ帯電を用いたガラスへのホログラム記録	700		○
社会環境工学科	助 教	白 川 龍 生	道路ユーザーの安全・安心感を重視した予防保全型舗装補修計画策定支援システムの開発	700		○
機器分析センター	講 師	大 津 直 史	水酸化カルシウムスラリーを用いたチタンインプラントへの骨誘導性能付与	700		○
社会環境工学科	准 教 授	宮 森 保 紀	廃止ローカル線橋梁群を利用したスマートセンサーによる構造健全度診断技術の実証実験	2,600	○	
共 通 講 座	准 教 授	福 士 航	なぜ長い18世紀の英国の劇場では女優だけが<黒塗り>をしなかったのか?	700	○	
情報処理センター	准 教 授	升 井 洋 志	ドリフライン近傍における原子核のエキゾチック構造と非束縛状態の役割	800	○	

※別途、間接経費2,070千円配分

○特別研究員奨励費

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付内定額 (単位:千円)	新規	継続
電気電子工学科	外 国 人 特別研究員	MUYEEN,S.M	風力発電機・水素製造装置・蓄電キャパシターから成る新しいウインドファームの構築	800		○
社会環境工学科	外 国 人 特別研究員	PANCHARATHI,R	耐震補強のための先端複合材料充填システムの開発	800		○

○奨励研究

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交付内定額 (単位:千円)
技 術 部	技 術 員	中 西 喜 美 雄	オホーツク地域における住宅用熱交換エレメントの凍結防止	580

平成21年度 科学研究費補助金申請件数一覧(学科等別)

(研究協力課)

研究種目等	機械工学科		社会環境工学科		電気電子工学科		情報システム工学科		バイオ環境化学科		マテリアル工学科		共通講座		センター等		合計	
	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円
特別推進研究																	0	0
新学術領域研究 (研究領域提案型) (計画)																	0	0
新学術領域研究 (研究課題提案型)																	0	0
特定領域研究 (計画)																	0	0
特定領域研究 (公募)											(1)	(1,600)					(1)	(1,600)
											1	1,600					1	1,600
基盤研究(S)																	0	0
基盤研究(A) (一般)			(1)	(6,300)											(1)	(5,000)	(2)	(11,300)
			1	6,300											1	5,000	2	11,300
基盤研究(A) (海外学術調査)											1	14,400					1	14,400
基盤研究(B) (一般)			(1)	(1,900)			(1)	(4,000)									(2)	(5,900)
			3	10,700			1	4,000	1	8,000							5	22,700
基盤研究(B) (海外学術調査)																	0	0
基盤研究(C) (一般)	3	4,200	1	(1,100)	(1)	(900)	(1)	(800)	(1)	(2,800)							(2)	(5,600)
			3	4,200	8	9,000	2	2,400	6	6,300							22	26,100
挑戦的萌芽研究	1	1,600					(1)	(700)					(1)	(1,100)			(2)	(1,800)
			1	1,900			1	700					1	1,000			4	5,200
若手研究(S)																	0	0
若手研究(A)											(1)	(3,200)					(1)	(3,200)
											1	3,200					1	3,200
若手研究(B)			(1)	(700)			(1)	(700)									(2)	(1,400)
			2	3,300			1	700					1	700	2	1,500	6	6,200
計	4	5,800	(2)	(10,000)	(1)	(900)	(4)	(6,200)	(1)	(2,800)	(2)	(4,800)	(1)	(1,100)	(1)	(5,000)	(12)	(30,800)
			10	26,400	8	9,000	5	7,800	7	14,300	3	19,200	2	1,700	3	6,500	42	90,700

※備考: 1 上段()内は継続課題の内定数で内数

2 金額は平成21年度申請(内定)額

平成 21 年度(財)高橋産業経済研究財団研究助成金の課題採択決定

(研究協力課)

所 属	職名	氏 名	研 究 課 題	交付金額
社会環境工学科	教 授	高橋 修平	産学官連携による第1次産業から第2次産業基盤の形成を目指す人材育成	1,000 千円

平成 21 年度(財)河川環境管理財団研究助成金の課題採択決定

(研究協力課)

所 属	職名	氏 名	研 究 課 題	交付金額
社会環境工学科	教 授	渡邊 康玄	軟岩河床河川における河床低下機構に関する研究	1,000 千円
社会環境工学科	教 授	中山 恵介	小流域における突発的な出水・洪水対策手法の開発	1,000 千円

平成21年度共同研究の受入状況

平成21年5月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究代表者	研 究 題 目	民間機関等
地域共同研究センター	教授	鞘師 守	廃携帯電話からの貴金属回収ビジネスに関する調査研究	成鈴工務店
社会環境工学科	准教授	永禮 英明	寒冷地の浄水処理に最適な凝集剤の選定及び凝集方法の開発に関する研究	北見市企業局
社会環境工学科	教授	鈴木 輝之	機能性コンクリートに適用する化学混和剤の研究	日産化学工業(株)
国際交流センター	教授	山岸 喬	常呂産ニンニク、常呂産ニンニクを用いた原料および/又は製品の有用性に関する研究	日本製薬工業(株)
社会環境工学科	教授	鈴木 輝之	北見市環境調査研究(大気、水質、騒音・振動、臭気、ダイオキシン類)	北見市
社会環境工学科	教授	鈴木 輝之	北見市一般廃棄物処理に関する環境調査並びにごみ質調査共同研究	北見市
社会環境工学科	准教授	伊藤 陽司	土砂災害軽減のための地すべり活動度評価手法の開発	北海道立地質研究所
電気電子工学科	教授	谷本 洋	超低電圧動作アナログ回路の研究	(株)ルネサステクノロジ
社会環境工学科	教授	川村 彰	わだち掘れ路面の実態と操縦安定性への影響	(株)ワーカム北海道
機械工学科	准教授	松村 昌典	住宅用24時間換気システムに関する研究	日本電興(株)
機械工学科	准教授	山田 貴延	住宅用24時間換気システムに関する研究	日本電興(株)
社会環境工学科	教授	鈴木 輝之	常呂川水系水質調査研究	常呂川水系環境保全対策協議会
社会環境工学科	教授	榎本 浩之	Polar Cryospheric Monitoring related to Global Environmental Change using GCOM-WAMSR2	(独)宇宙航空研究開発機構
電気電子工学科	教授	谷本 洋	アナログ高周波回路技術	(株)トッパン・テクニカル・デザインセンター
マテリアル工学科	准教授	宇都 正幸	牛糞・ホタテウロ混合嫌気発酵における残存カドミウムの除去技術に関する研究	(株)中央製作所
社会環境工学科	教授	山下 聡	連続繊維補強土工法における構造体の力学特性	日特建設(株)
バイオ環境化学科	准教授	岡崎 文保	大気中の悪臭成分定量分析に関する研究	環境コンサルタント(株)北網支店
バイオ環境化学科	助教	多田 清志	食用きのこ生産工程における副産物の高次利用を目指した物質変換プロセスの開発	(道)林産試験場/北海道大学/(株)藤六食品
社会環境工学科	教授	川村 彰	高速道路における走行快適性に関する共同研究	(株)高速道路総合技術研究所
バイオ環境化学科	准教授	岡崎 文保	建築廃材中の繊維状物質の簡易定量	(株)環境リサーチ
機械工学科	准教授	松村 昌典	物体に作用する流動抵抗の測定	(社)北見工業技術センター運営協会
機械工学科	教授	富士 明良	新時代工学的素養を有する中核人材の育成	(社)北見工業技術センター運営協会
社会環境工学科	教授	鈴木 輝之	黒硬、製鋼スラグ、石炭灰の混合による地盤改良試験	太平洋興発(株)釧路支店

平成21年度 累計41件

平成21年度受託研究の受入状況

平成21年5月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究担当者	研究題目及び研究期間	委託機関	所要経費
社会環境工学科	教授	中山 恵介	知床を対象とした気候変動による寒冷地域の生態系システムへの影響評価	三井物産株式会社	円 4,797,000
社会環境工学科	教授	大島 俊之	鉄道廃線の橋梁群を活用した構造成全度診断技術開発のための実験環境の共同利用	(独)科学技術振興機構	7,095,000
電気電子工学科	助教	仲村 宏一	電気二重層キャパシタの性能向上手法に関する研究	日産ディーゼル工業(株)	1,000,000
地域連携・研究戦略室	教授	青木 清	戦略展開プログラム(知的財産活動基盤の強化)	文部科学省	6,000,000

平成21年度累計 4件

平成21年度奨学寄附金受入状況

平成21年5月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究者	寄 附 目 的	寄 附 者	寄附金額
バイオ環境化学科	准教授	兼清 泰正	「多孔質ガラス表面へのボロン酸基の導入による多色変化型糖センシングチップの作製」の研究のため	(財)日本板硝子材料工学助成会	円 1,150,000
情報システム工学科	准教授	榊井 文人	移動に伴う寄附金の移管のため	国立大学法人 三重大学	768,686
電気電子工学科	教授	田村 淳二	学術研究助成のため	(株)日立製作所 日立研究所	378,000
社会環境工学科	准教授	宮森 保紀	工学研究のため	(社)日本鉄鋼連盟	500,000
社会環境工学科	教授	大島 俊之	橋梁用ゴム部材耐震機能装置の低温条件下における機能特性の研究のため	(株)ブリヂストン	400,000
機械工学科	助教	高井 和紀	住宅室内空気質の分析調査のため	特定非営利活動法人 日本VOC測定協会	920,000
電気電子工学科	助教	斎藤 全	移動に伴う寄附金の移管のため	国立大学法人 北海道大学	288,600
社会環境工学科	教授	渡邊 康玄	研究のため	(財)北海道河川防災 研究センター	1,200,000
	学長	鮎田 耕一	大学広報等への支援のため(女満別空港広告看板掲出料)	北見工業大学後援会	548,100
	学長	鮎田 耕一	学生に対する支援のため(奨学金支給)	北見工業大学後援会	90,000
バイオ環境化学科	教授	青山 政和	農業副産物の資源化に関する研究助成のため	北海道三井化学(株)	800,000
社会環境工学科	教授	高橋 修平	課題目「産学官連携による第1次産業から第2次産業基盤の形成を目指す人材育成」への助成のため	(財)高橋産業経済研究財団	1,000,000
社会環境工学科	准教授	後藤 隆司	岩石強度研究のため	(株)中神土木設計事務所	100,000
	学長	鮎田 耕一	学生の進路指導、大学説明会等の事業を推進するため	北見工業大学学生後援会	2,000,000
	学長	鮎田 耕一	学生に対する支援(奨学金支給)	北見工業大学後援会	450,000
社会環境工学科	教授	鈴木 輝之	道路構造の防災対策の検討のため	(財)北海道道路管理 技術センター	300,000
社会環境工学科	教授	大島 俊之	道路構造の防災対策の検討のため	(財)北海道道路管理 技術センター	300,000

平成21年度累計 18件

= 諸報 =

平成 20 年度国立大学法人北見工業大学永年勤務者表彰式 (退職時表彰)を挙

(企画広報課)

平成 20 年度国立大学法人北見工業大学永年勤務者表彰式(退職時表彰)が3月31日(火)午前 10 時から学長室において行われました。

本学永年勤務者表彰(退職時表彰)の被表彰者に対し、学長から表彰状の授与並びに記念品の贈呈が行われました。

被表彰者は、次のとおりです。(50 音順)

氏 名	所属学科等
木 村 有 利	企画広報課
村 田 年 昭	電気電子工学科
吉 田 正 敏	研究協力課
渡 部 和 幸	財務課



学長（前列中央）を中心に永年勤務者表彰の被表彰者たち

名誉教授称号授与

(総務課)

4月15日(水)開催の教育研究評議会において、本年3月31日限りで定年により退職された細矢良雄前教授、藤原祥隆前教授の2氏に対して、本学名誉教授の称号を授与すること

が承認され、4月24日(金)に学長室において、鮎田耕一学長から名誉教授の称号が授与されました。



鮎田学長より名誉教授の称号を授与される細矢氏(写真左)と藤原氏(写真右)



前列左より藤原氏、鮎田学長、細矢氏

平成 21 年度構内美化作業の開始

(施設課)

本学にて毎年恒例となっている「構内美化作業」が5月11日(月)より始まりました。

昼休み時間を利用して学生と教職員が協力しながら構内や沿道のゴミ拾いを行う、というこの取り組みは大学の地域貢献という側面のみならず、環境マインドを持った次代を担う人材育成にも寄与しています。

作業に先立ち、鮎田学長より構内美化についての激励を受けた後、約150名の参加者は各々構内所定の場所を廻り、ゴミ拾いに汗を流しました。

その後、学生及び教職員は雪どけにより出てきたゴミを袋に詰めて集積所へ戻り、職員指導のもとゴミを分別して第1回目の作業が終了となりました。

構内美化作業は10月下旬まで夏季休業期間の8月・9月を除く毎月2回のペースで行われ、期間内には地域との連携をより深めるべく市が主催する「北見クリーン作戦」にも参加し、市民への清掃に関する啓発活動や付近公園などのゴミ拾いを実施する予定です。



↑参加者を激励する鮎田学長



多数の学生と教職員が協力して実施→

安全衛生講習会を開催

(施設課)

5月15日(金)、総合研究棟多目的講義室にて職場における安全衛生の推進を目的として、2009年度春季安全衛生講習会を実施しました。

本学バイオ環境化学科 伊藤 好二 講師により、「労働衛生と関係法令」と題して、安全と危険についての説明、大学における労働安全衛生、化学薬品の危険性と関係法令等について講演が行われました。

その後、同講師から作業環境測定について、本学衛生管理者 橋本 晴美 技術員から産業医および衛生管理者による巡回について説明があり、作業場の安全と衛生の確保のために改めて協力を依頼しました。

当日は教職員及び学生合わせて39名が参加し、熱心に耳を傾け、安全衛生に対する理解を深めたようです。



講習会の様子

北見工業大学「技術士養成支援講座」の開講

(研究協力課)

5月15日(金)、「技術士養成支援講座」が本学を会場に開講されました。

本講座は平成18年度から、札幌サテライトを会場に毎年実施しており、北見地域での開催が望まれていたところから、今回の開催となりました。

本講座は、北見市の本学出身技術士6名が講師となり、実践的な講義内容を親切・丁寧に指導し、「技術士」の資格取得を支援するもので、札幌サテライト会場では本年1月から18名が受講しています。開講期間は、5月から7月までの合計6回とし、開講時間についても、勤

務後に参加しやすいように18時からの2時間で実施する旨募集したところ、早々に多数の申込が寄せられました。そのため、やむを得ず、予定定員を越す22名で募集を打ち切ったの実施となりました。

開講にあたって、青木副学長から挨拶があり、6名の講師の自己紹介と受講生の自己紹介の後、橘、岡田包儀両技術士による講義に入りました。今後6回の講義のうち2回は、札幌サテライト会場とTV会議システムを利用し、札幌と北見の受講生が同時に講義を受けることとなります。



青木副学長からの挨拶



説明に聴き入る受講者

4 月

- 3 日 教授会
- 6 日 入学式
 新入生ガイダンス(全体)
- 7 日 役員会
 新入生ガイダンス(系列)
- 8 日 前期授業開始
 入学者選抜委員会
- 10 日 奨学金返還免除候補者選考委員会
- 13 日 役員会
- 15 日 教育研究評議会
- 20 日 広報委員会
 教務委員会
- 21 日 教職員ガイダンス
 面接突破セミナー
 学生委員会
- 24 日 教職員ガイダンス
- 28 日 交通安全講習会
- 30 日 入試企画センター全体会議

5 月

- 8 日 教務委員会
- 11 日 役員会
- 12 日 研究科委員会
 就職ガイダンス
- 13 日 入学者選抜委員会
- 18 日 役員会
- 19 日 インターシップ説明会
- 20 日 学生委員会
- 25 日 教育研究評議会
- 26 日 経営協議会、役員会

